

東海経済レポート

（2017 年 11 月）

～企業部門、家計部門ともに回復の動きを継続～

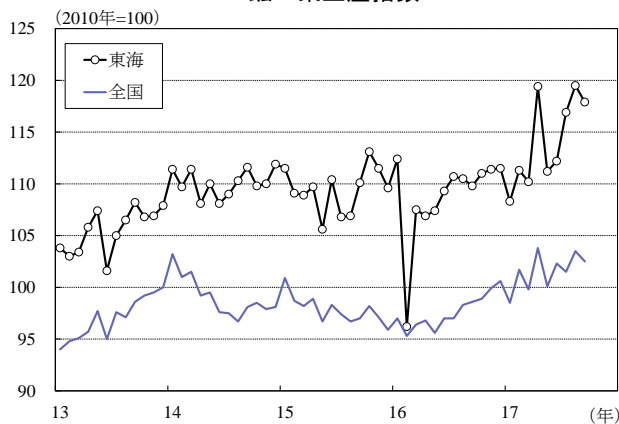
【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済は回復の動きを続けている。企業部門では、輸出が増勢を維持しており、生産も良好な水準で推移している。設備投資は先行指標となる工作機械の国内受注が増加。家計部門も、良好な雇用環境の下、小売売上などが底堅く推移中。
 - ▶ 生産は、9月の鉱工業生産指数が前月比▲1.3%と4ヵ月ぶりに低下。ただ、指数の水準はリーマン・ショック後3番目の高さであり、生産活動は引き続き堅調。電子部品・デバイスと輸送機械が前月比低下となった一方、生産用機械と電気機械は共にリーマン・ショック後の最高水準を更新。
 - ▶ 設備投資は、その先行指標とされる金属工作機械の9月の国内受注額が前年比+33.0%と2ヵ月連続のプラスとなった。ウエイトが高い一般機械工業及び自動車工業からの受注が揃って同+30%を超える伸びとなり、受注全体も大きく伸びた。
 - ▶ 輸出額（円ベース）は、10月に前年比+11.6%と9ヵ月連続で増加。相手国別では、中国向けが9ヵ月連続で同2桁増となったほか、EU向けやアジア向けも同2桁の伸びが継続、米国向けも9ヵ月連続プラスと好調を維持。品目別では、自動車部品が15ヵ月連続でプラスと好調なほか、一般機械、自動車、電気機器、工作機械も増勢を維持。
 - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。9月の有効求人倍率は、岐阜県が2ヵ月連続の1.83倍と1992年12月以来となる最高水準を維持。また、愛知県は1.85倍とリーマン・ショック以降の最高水準域、三重県も1.64倍とバブル崩壊以降の最高水準域で、それぞれ推移中。
 - ▶ 個人消費は、9月の小売主要3業態の販売が前年比+1.4%と7ヵ月連続で増加。業態別では、2015年12月以来、21ヵ月ぶりに3業態揃って前年比増となった。また、9月の新車販売台数は同+0.8%と、2ヵ月連続プラスとなった。
 - ▶ 住宅着工は、9月に年率換算で9.3万戸と前年比+6.2%増加し、2ヵ月ぶりのプラスとなった。戸建て分譲と持家が前年比マイナスとなったものの、貸家と分譲マンションが大幅増加となり、全体では前年比増となった。

【生産①】

9月の鉱工業生産指数は前月比▲1.3%と、4ヵ月ぶりに低下。ただ、指数の水準は高く生産活動は堅調。

鉱工業生産指数



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

業種別では、生産用機械、電気機械がそれぞれリーマン・ショック以降の最高水準を更新。

業種別の鉱工業生産(東海)

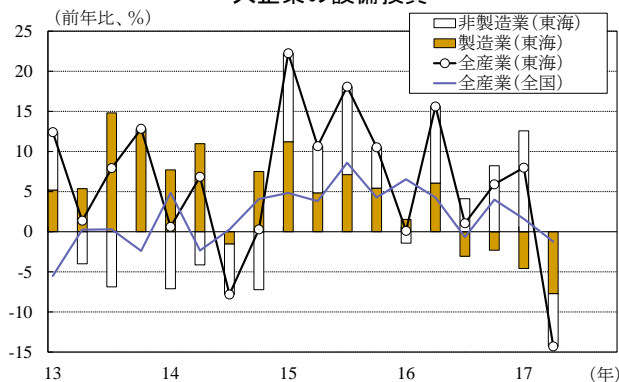


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

4-6月期の大企業の設備投資は前年比▲14.3%と、11四半期ぶりのマイナス。

大企業の設備投資

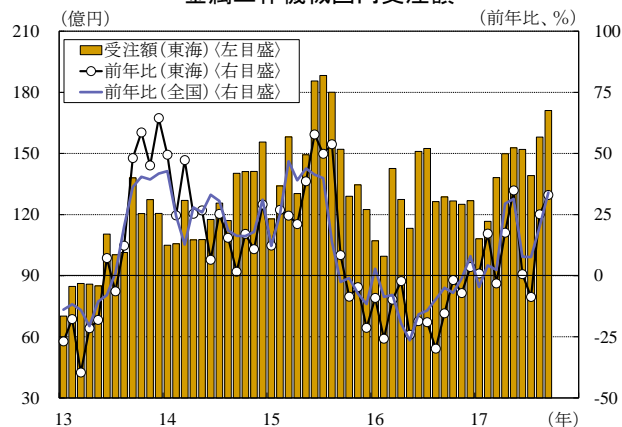


(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

金属工作機械の国内受注額は9月に前年比+33.0%と、2ヵ月連続のプラス。

金属工作機械国内受注額

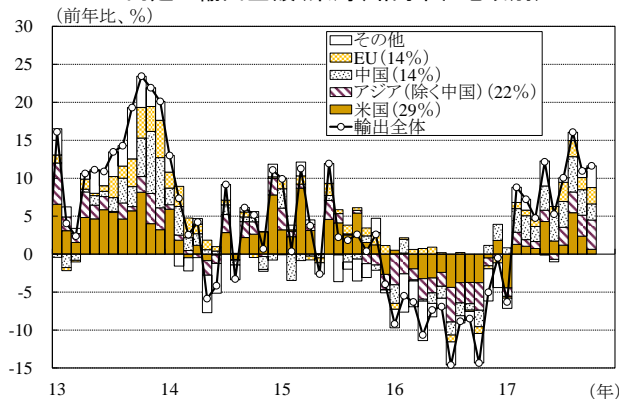


(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

10月の輸出額(円ベース)は前年比+11.6%と、9ヵ月連続増加。主要相手国向けが揃って増勢を維持。

円建て輸出金額(東海、相手国・地域別)

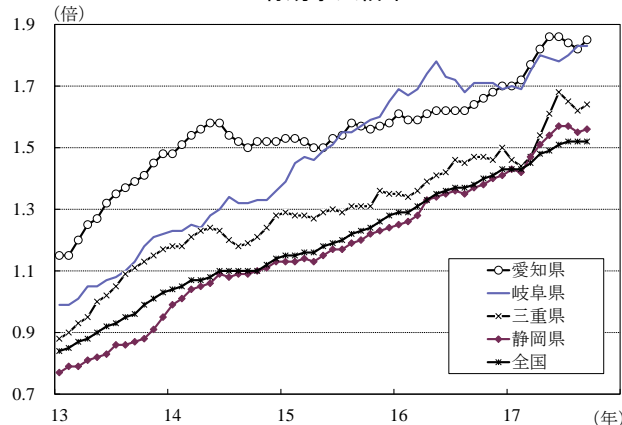


(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

9月の有効求人倍率は岐阜県がバブル後の最高水準を維持。愛知県、三重県も近年の高水準で推移。

有効求人倍率

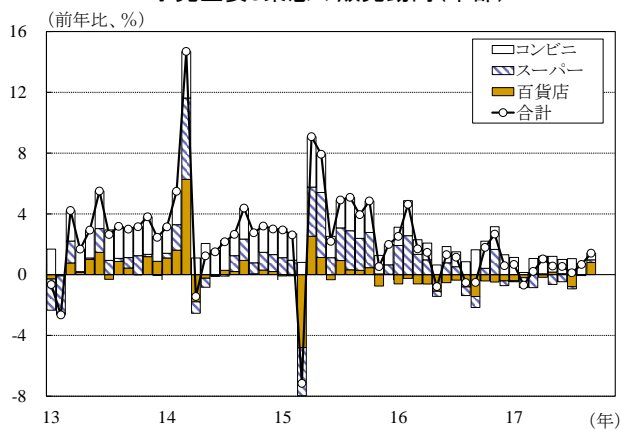


(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

9月の小売主要3業態の販売は前年比+1.4%と、7ヵ月連続増加。3業態揃っての同増加は21ヵ月ぶり。

小売主要3業態の販売動向(中部)

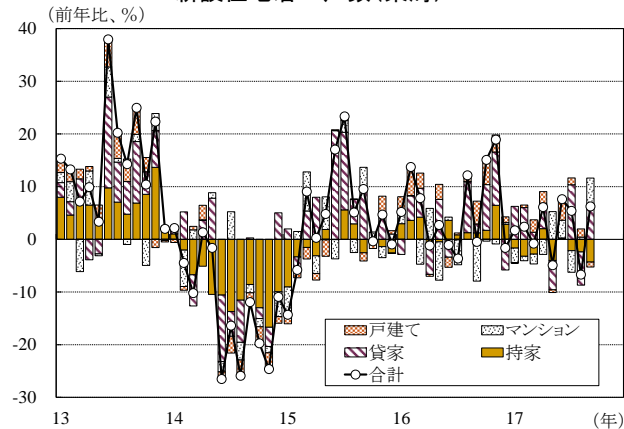


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

9月の住宅着工戸数は年率換算で9.3万戸と、前年比+6.2%。貸家とマンションの増加が全体を牽引。

新設住宅着工戸数(東海)

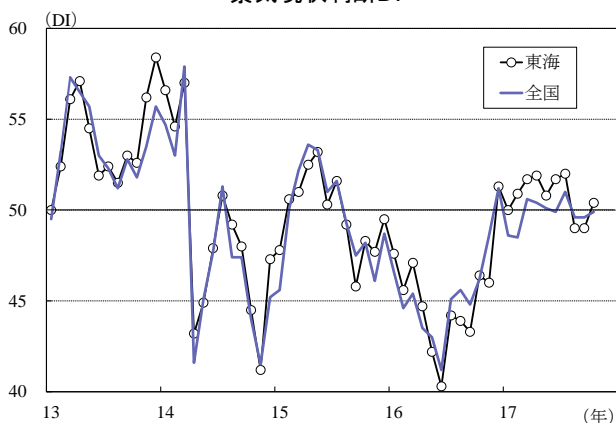


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省東海より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

10月の景気現状判断DIは50.4と、3ヵ月ぶりに上昇。好不調の分かれ目となる50を回復。

景気現状判断DI

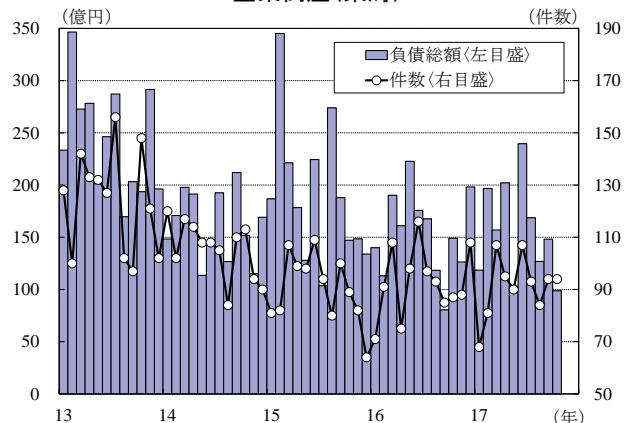


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

10月の企業倒産件数は94件で前年比+8.0%の増加。負債総額は同▲33.8%の減少。

企業倒産(東海)

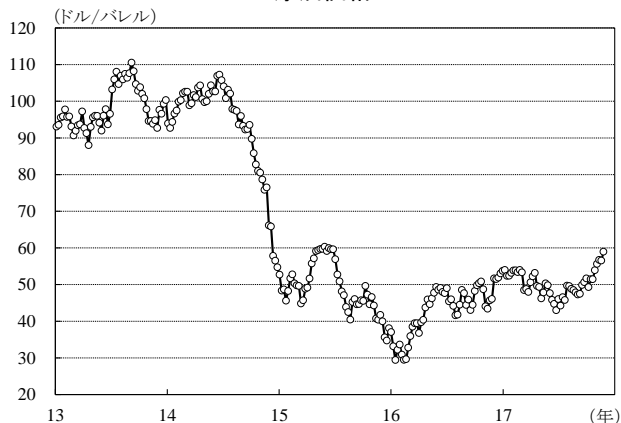


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、OPECの協調減産の延長への期待等を背景に、1バレル50ドル台後半で推移。

原油価格

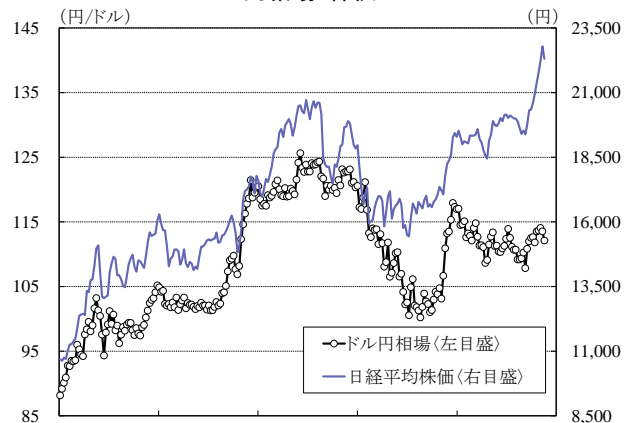


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

円相場は日米金利差縮小等を背景に小幅円高方向。株価はバブル後の最高値をいったん更新。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京 UFJ 銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。